

Vol.25

三重大学医学部附属病院 がんセンターNEWS

リボنزハウス通信

発刊 2021年3月

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/ca-center/>



第5回 あたたかい川柳



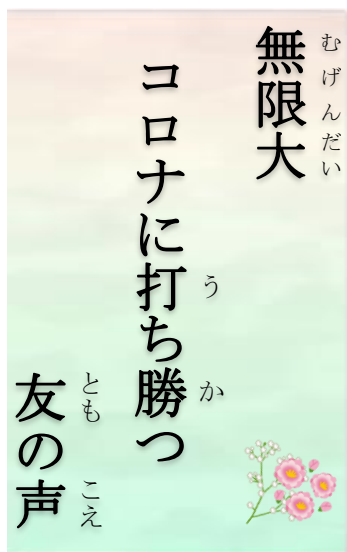
たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただきました作品は、リボنزハウス前に掲示させていただきました。
ぜひお越しください！

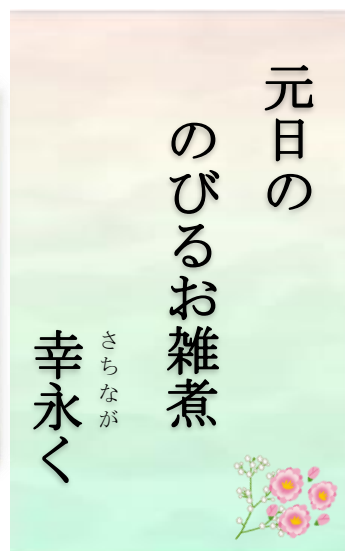
次回の募集は、6月頃を予定しております。皆様の素晴らしい作品を多数お待ちしております。



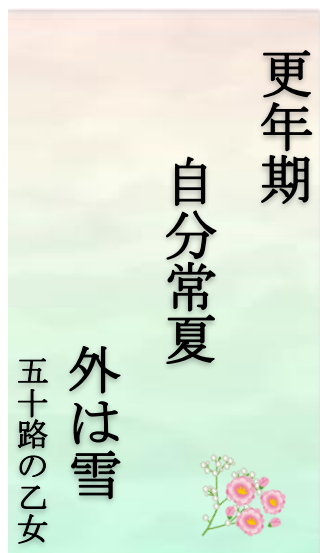
各賞に選ばれました作品をご紹介します



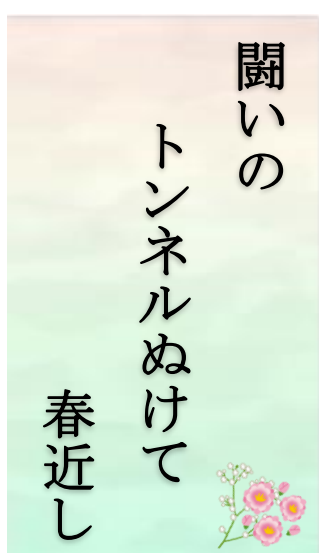
☆がん相談支援センター長賞☆



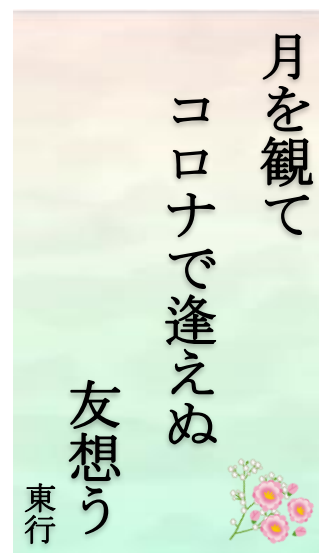
☆がんセンター長賞☆



☆リボنزハウス特別賞☆



☆リボنزハウス特別賞☆



☆リボنزハウス特別賞☆



新しい本が入りました



リボンズハウスに新しい本が入りました。体験を絵本にしたものや、治療に関するガイドブックなどさまざまな本が貸し出し可能となっております。

きつと「大丈夫。」

著：細谷 亮太



40年間、小児がんの子どもたちの「いのち」と向き合ってきた、細谷亮太先生が大切にしている「大丈夫。」という祈りの言葉は、難病の子どもたちや悩みを抱える大人たちにいつも元気を与えてくれます。

ぼくのレモネード屋さん

著：えいしましろう



自分自身の体験と患児の友人や保護者へのインタビューを元に、小学六年生（2019年7月現在）の四郎くんが絵も文も（描き）書き上げた当事者の語りです。



不安なパパやママのために、がん治療についてイラストでやさしく解説されています。正しく理解し、がんにつきあっていくことで、子どもたちは大きく成長していけるはずです。

こどものがん治療

著：細野 亜古

君と白血病—この1日を貴重な1日に

著：Lynn S.Baker 翻訳：細谷 亮太



白血病の子どもに、白血病とはどういうものなのか？それを診断、治療するために医者とはどんなことをするのかをやさしく語りかける様に絵解きしたハンドブック。



4歳の夏、美咲ちゃんは、急性骨髄性白血病を宣告されました。つらい治療をのりこえ、待ちに待った退院。美咲ちゃんは、みんなにもっと自分の病気のことを知ってもらいたいという思いから絵本をかきました。がんをのりこえた女の子のお話。



「この絵本を、多くの人の手にとってもらって、小児がんを知ってもらえ、きっかけをつくりたいんです！」この絵本の発案者・栄島四郎さん(小学4年生)の願いです。しろさんのももに届いた案内状を手に、トンネルを抜けると…。

しろさんのレモネード屋さん

著：松崎 雅美、矢原 由布子

もっと知りたい白血病治療

著：宮崎 仁



白血病と闘っている患者さんと患者を支援する家族が、白血病を正しく理解するために解説した書籍。



小児がんの患者とその家族が、適切な診断と治療方法、福祉、生活までを知るために役立つガイドブック。

小児がんガイドブック

編さん：東京都立小児総合医療センター 血液腫瘍科

チャーリー・ブラウン なぜなんだい？

著：チャールズ M.シュルツ



なかよしのジャズが白血病で入院しました。そして、病気に対する疑問がうまれてきます…。



あれ？なんだか体があつい。白血病とたたかった子どもが学校にもどるまでのお話。

おかえり！めいちゃん

著：大見 サキエ、森口 清美、
がんの子どもの復学支援
プロジェクトチーム

【お問合せ】三重大学医学部附属病院 リボンズハウス

059-232-1111(内線:5132)

月曜～金曜 9:00～16:00 がんセンター がん相談支援部門

